

Press Release

報道関係者各位

令和2年11月24日

一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会 (CCDS)

CCDS 「IoT 分野共通セキュリティ要件ガイドライン 2021 年版」を公開 ～CCDS サーフティフィケーションプログラムの共通要件を改版～

一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会（会長：徳田 英幸 情報通信研究機構 理事長、代表理事：荻野 司 情報セキュリティ大学院大学客員教授、以下 CCDS）は、2019 年にリリースしたガイドラインをもとに、国内外のセキュリティ標準動向を参考に、対策要件を更新した『IoT 分野共通セキュリティ要件ガイドライン 2021 年版 1.0 版（文書番号：CCDS-GR01-2021）』をリリース致しました。

本内容は、2019 年 1 月より継続的に活動しているサーティフィケーション WG の取組み成果であり、IoT セキュリティ要件諮問委員会のレビューを経て、策定された内容となります。

■CCDS IoT 分野共通セキュリティ要件ガイドライン 2021 年版 1.0 の概要

IoT 分野共通セキュリティ要件ガイドライン 2021 年版 1.0（以下、本ガイドライン）は、国内外のガイドライン、特に米国国立標準技術研究所（NIST）より 2020 年 5 月に公開された NISTIR 8259 “Foundational Cybersecurity Activities for IoT Device Manufactures”^{※1}を参考に、機器メーカーとして組織体制や運用面において対応すべき要件の追加や、影響の高い脆弱性の動向から対策要件を見直しました。今後、CCDS では、サーティフィケーションプログラムにおいても、本ガイドラインの要件に対応したサーティフィケーションマークを発行し、IoT セキュリティの普及を推進してまいります。

IoT 分野共通セキュリティ要件ガイドライン 2021 年版の主な更新内容

- ・要件 No. 5（変更）：機器毎に固有の ID とパスワードの利用へと対策要件を更新
- ・要件 No. 6（変更）：要件 No. 5 の変更に伴い、整合を取るため文言、対策要件を変更
- ・要件 No. 9（追加）：Bluetooth のプロファイル確認、Blueborne の脆弱性検査を対策要件に追加
- ・要件 No. 12（新設）：製品を提供する事業者の組織体制や製品の運用に関する要件として脆弱性の連絡窓口や、製品のセキュリティアップデートのサポートサイトに関する対策要件を新設

製品分野別セキュリティガイドラインは CCDS 公開資料サイト(以下の URL)をご参照ください。

https://www.ccds.or.jp/public_document/index.html

※1：米国国立標準技術研究所（NIST）、NISTIR 8259 “Foundational Cybersecurity Activities for IoT Device Manufactures“

<https://nvlpubs.nist.gov/nistpubs/ir/2020/NIST.IR.8259.pdf>

【重要生活機器連携セキュリティ協議会（CCDS） 概要】

日常生活で利用する機器（生活機器）の中で、予期せぬ動作の発生により利用者の身体や生命および財産に影響を及ぼす可能性がある重要生活機器が存在し、それら機器をネットワーク接続したり他の機器と連携させたりしても安全・安心に利用できる環境を実現する必要があります。CCDSでは重要生活機器のセキュリティ技術に関する調査研究、ガイドラインの策定や標準化の検討、及び普及啓発を行い、もって我が国のものづくり産業の発展と新規事業創造、そして国民生活の向上に寄与することを目的として活動しています。

CCDSに関する詳細は以下のWebサイトをご参照ください。

<https://www.ccds.or.jp/>

以上

お問い合わせ： 一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会事務局

担当：田久保、中野

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-1 野田ビル 3F

TEL:03-6455-7193 E-MAIL: ccds-sec@ccds.or.jp